

ボツワナ通信 NO,2

要請内容

私の要請内容は主として3つあります。

- 1、学校体育の一環として取り入れている市内数カ所の小学校での巡回指導
- 2、コーチの育成(ボツワナ人黒帯コーチがない)
- 3、国際大会出場レベルの選手の強化(来年アフリカ大会がボツワナである為)

活動スタート

8月7日、私の活動がいよいよスタートしました。

コーチに「今月は生徒のレベルやあなたのスタイルを見たいから見させてください」とお願いをしたのですが、聞く耳を持たず、着任早々約1時間半の稽古を悪く言ってしまうと丸投げされました。このような状況を想定していなくて準備不足を痛感しましたが、コーチが私の英語を分かりやすく、言い直す等のサポートをしてくれたお陰で助かりました。

1週間のスケジュール

私の1日は朝のランニングから始まります。今のところ午前中は、柔道関係の資料を英文で作成し、計画しているコーチ向けの勉強会の準備をしています。午後から活動が始まり、1日に2つの場所で練習を受け持っています。活動場所は、まだ落ち着いていませんが、今は、市内数カ所にある学校を巡回指導しています。怠けようと思うといくらでも怠けることのできる協力隊活動では自分を売り込む事が大切ですので、できる限り1日の予定を入れて規則正しい生活を心がけています。

第一印象

2年間という長期で日本人指導者がボツワナに派遣されるのは初めてなのですが、昨年、数年前も短期で日本人の指導者の方々が草の根文化無償資金協力で指導に来られていた事もあり、細かい動作は抜きにして基礎基本の形はできている印象を受けました。

また、生徒も素直で柔道が大好きで目を輝かせて色々な質問をしてきます。

ボツワナでは空手が最も盛んな武道です。一般の方はもちろん生徒もコーチも空手と柔道の区別がついていないと感じる場面によく遭遇します。分かりやすい例で言うと、生徒は先生に会ったら空手の挨拶であると思われる「押忍！！」と元気に叫びます。これも少しずつ改善していきたいところです。



畳敷きも練習のうち

現在、日本の中学校では武道必修科に伴いほとんどの学校に道場があります。私が幼少時代を過ごした町道場も全国各地に点在しています。でも、ポツワナでは道場はおろか畳を常設している場所ありません。その為、練習は畳を敷くことから始まります。例えば練習時間が2時間あるとしたら、その2時間に準備(畳敷き)と後片付けも含まれているのです。みんなで協力して行えばあっという間なのですが、ひたすら準備をする子もいれば、畳敷きそっちのけで遊ぶ子もいてスムーズに進みません。堅いマットで違和感無く練習していたつもりが、足の裏を見たら皮がベロッと剥がれていました。



活動場所によって異なる環境からの発見

現在、市内5カ所の学校で指導をしました。畳に関しては、どこの学校も空手のマットのような堅い物を使っています。でも当然の事ながらクラブによって練習スタイル、生徒の性格や個性、練習時間、練習の雰囲気、コーチの指導方針等様々な環境が異なり、その中から多くの発見をさせてもらっています。



重点的に行った事

今月は、練習内容には、ほとんど口出しをしませんでしたが、2つだけしつこく言った事があります。

1つ目は、柔道着の着方と帯の結び方です。赴任当初、写真を見ていただけると分かりますが、ほとんどの生徒がきちんと帯を結べず、教えても次の日になったら忘れていたので、教えるのに苦労しました。全員が正しく結べてから練習を始めるようにしています。未だに結べない子もいますが、根気を持って教えていきたいと思えます。

2つ目は、礼法です。これに関しては、1ヶ月でかなり改善されたと思います。日本人から技を習いたいと思っているはずですが、細かい事ばかり注意する日本人に疑問を持つ生徒もいたかと思えます。そんな中でついてきてくれた生徒には感謝です。



合同練習会

これから、月に2度の頻度で合同練習会(市内全てのクラブが集まる)を土曜日にスタジアムで開催しようと思っています。たくさんの仲間が集まって広い所で練習できる合同練習会が生徒達は大好きです。コーチがウォーミングアップまでやってくれて、後は私が仕切りました。60人の生徒が集まり、統率を取るのが大変でしたが、何とか無事に練習が終わりました。

ポツワナ柔道から学ぶ



今月は生徒の柔道スタイル、コーチの方針、学校の雰囲気を感じ取り見る事ができました。コーチから意見を求められた時以外は口を出さず、言いたい事や口を挟みたくなる時もその都度ありましたが、我慢してよく見て、気がついた事は、メモして練習を見る事に徹しました。最初は、「どうやって指導して行こうか」とばかり思って観察していましたが、現地のコーチ達は限られた環境の中で創意工夫して練習を作り上げていて、逆に私自身が勉強させてもらいました。これからもコーチや生徒ボツワナ柔道から学ぶ姿勢を持って指導していきたいです。スロースタートの決断は良かったかなと思います。

隊員総会

年に2回の隊員総会が開催されました。ボツワナ全土各地から全16人のボツワナ隊員(JOCV/SV)が首都に集まり活動状況等の報告をしました。職種は、異なりますが、ボツワナ人を相手に試行錯誤しながら活動をしている先輩隊員の話は、大変参考になりました。

私も胸を張って1年後に中間報告ができる



ように活動していきたいと思いました。

2013年 8月30日 青年海外協力隊 ボツワナ 柔道隊員 井坪 圭佑